

平成18年度石油学会賞の表彰授賞式について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループは、「高過酷度流動接触分解装置 HS-FCC」、「改質硫黄固化体 レコサル」、「はっ水処理活性炭を用いた硫酸副生型排煙脱硫装置の開発」の三つの技術に対し、平成18年度石油学会賞の「野口記念賞」と「技術進歩賞」を受賞し、その表彰授賞式が昨日5月17日(木)に開催されましたのでお知らせいたします。

「野口記念賞」を受賞した「HS-FCC」は、従来の流動接触分解(FCC)プロセスに比べプロピレン回収率を高めることに成功し、サウジアラビアにおける30バレル/日の実証試験で実用化に目処をたてたことが評価され、受賞につながったものです。

「技術進歩賞」を受賞した「レコサル」は、原油から各種石油製品を製造する過程で分離される硫黄に、石炭灰・ホタテの貝殻など他産業からの副産物を組み合わせて建設材料を開発した技術力が評価されました。

また、「はっ水処理活性炭を用いた硫酸副生型排煙脱硫装置の開発」は、はっ水処理によって長寿命化した新規開発触媒の処理技術により、無廃棄物、無排水、高い省エネルギー性をもつプロセスを実用化したことが評価されたものです。

「HS-FCC」は、財団法人国際石油交流センター、キングファド大学(サウジアラビア)、サウジアラムコとの共同研究、「レコサル」は、財団法人石油産業活性化センターでの事業実施、「はっ水処理活性炭を用いた硫酸副生型排煙脱硫装置の開発」は当社の石油精製部門である新日本石油精製株式会社と千代田化工建設株式会社の事業での共同受賞となります。

今回の表彰授賞式では、石油学会会長の菊地英一氏から各受賞者に賞記賞牌が授与されました。また、表彰授賞式後、受賞テーマについて受賞講演が行われました。

記

<表彰授賞式・受賞講演の概要>

1. 日時:5月17日(木) 表彰授賞式 11時00分～11時15分 受賞講演 12時35分～16時35分
2. 場所:タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀4-1-1)
3. 当社受賞テーマ・講演内容

(1)野口記念賞:「高過酷度流動接触分解装置 HS-FCC」

講演者:当社 研究開発本部中央技術研究所 燃料研究所CRIグループマネージャー 藤山優一郎

講演タイトル:「新規ダウンフローリアクターを用いた高過酷度流動接触分解プロセスのサウジアラビアでの実証研究」

(2)技術進歩賞:「改質硫黄固化体 レコサル」

講演者:当社 研究開発本部開発部硫黄利用グループ 伊藤研二

講演タイトル:「改質した硫黄を用いた新規コンクリートの開発」

(3)技術進歩賞:「はっ水処理活性炭を用いた硫酸副生型排煙脱硫装置の開発」

講演者:千代田化工建設株式会社 研究開発センターグループリーダー 川村和茂氏

講演タイトル:「はっ水処理活性炭を用いた硫酸副生型排煙脱硫装置の開発」

以上

別添資料  表彰授賞式・受賞講演の様子(PDF:210.9KB)